

ご 挨拶

同志社大学人文科学研究所長

小 山 隆

本日は、同志社大学人文科学研究所第103回公開講演会に多数ご参加いただき、ありがとうございます。また、本日駆けつけて頂きました学外の先生方にもお礼申し上げます。

本学の人文科学研究所は、広く人文及び社会科学にわたって専門の学術理論及び応用に関する総合的研究を行い、文化の創造と発展に寄与するべく、日々研究活動を行っています。

その大きな特徴として、学際的共同研究ということが挙げられます。現在、本研究所では17の研究会が、共同研究活動を展開しており、本日の講演会はその研究会の1つ、第6研究会の成果発信の場となります。この研究会のテーマは、「近世から近代に至る日本伝統文化の分野横断的研究とデータサイエンス教材への活用」というもので、日本伝統文化に関連した大量の情報を、統計学、計算機科学などの手法を用いて法則性や関連性などを導き出し、それを教材化しようとする「文」と「理」を融合させた研究です。

この公開講演会では、宮廷文化のどのようなことが明らかにされるか楽しみです。

最後になりましたが、本講演会が、皆様にとって、有意義な時間となるようお願い、ごあいさつとさせていただきます。